

夢見ヶ崎の歴史と古墳

1: 南加瀬貝塚

紀元前、鶴見川・矢上川あたりまでは海だったと言われています。そのため瀬山周辺も海水で覆われ、海に浮かぶ小島のようになっていました。しかし加瀬山は、木が生い茂り勾配もなだらかな土地だったために人が暮らしていたと考えられています。貝塚は加瀬山の南東(旧・日吉出張所近辺)を中心として見つか、発掘された貝は9割がハマグリでしたが、縄文時代・弥生時代二つの時代の特色をもった貴重な貝塚でしたが、明治39年の調査以降は研究に力をいられることもありませんでした。

2: 秋草文壺

昭和17年に加瀬山裾の民家から発見された「秋草文壺」は国宝に指定されるほど貴重なものでした。高さ40cmほどのこの壺は骨を納めるためのもので、約12世紀ごろに作られたものだと考えられています。表面には、すすき・柳・とんぼといった秋の風物詩が描かれ、地元の有力者が所有していたのではないかと推測されています。川崎市唯一のこの国宝は現在、東京国立博物館に保管されています。

3: 古墳群

加瀬山では大小さまざまな古墳が見つかっています。なかでも、白山古墳(現・白山幼稚園の南西)は4世紀に作られたと推測される前方後円墳で、全長87mのこの古墳からはガラス玉や鉄刀などさまざまな出土品が発掘されました。とりわけ「三角縁神獣鏡」は、京都府や山口県・福岡県でも出土しているもので、豪族が大和朝廷に貢物をした際のお返しとして朝廷から賜ったものであり、この地の豪族が朝廷と強い繋がりを持っていたことを示しています。また、白山古墳の西に隣接していた第六天古墳からは、何種類かの副葬品と共に11体の男性が埋葬されていた石棺が見つかりました。

4: 神社

●了源寺

赤穂浪士に憩いの場を提供したと言われる軽部五兵衛の墓所があるこの寺は、10月24日に、「万燈供養日蓮上人入滅会(まんどくようくにちれんしようにんにゆうめつえ)」が盛大に執り行われます。

●寿福寺

16世紀末から加瀬山の北麓にあるこのお寺には、明治の初期、新堀平次郎という村人が力持ち自慢をしたといわれる、重さ90Kg以上にもなる大亀石があります。

●熊野神社

武蔵野風土記によれば、1587年に北条氏直によって建立。毎年2月に行われる節分祭には、大勢の人々がその年の年男・年女のまく豆や菓子をもらいにきます。

●浅間神社

6号古墳の上に鎮座するこの神社は、1804年に建立。本社は静岡県の富士山本宮浅間大社です。起源は、富士山の噴火を鎮めるために建立されたもので、その後、富士山を山霊として崇めるために全国に広まったようです。

●天照皇大神

太田道灌・北条氏政ゆかりの社として、毎年4月の第1日曜に「道灌・氏政まつり」が行われます。この社は、北条氏政の祈願所となったことから八棟造りの社殿がつくられ、また、太田道灌が、東北の空に縁起のよい丹頂鶴が舞ったという夢をみて、江戸城を築城したという言い伝えが残っています。

川崎市夢見ヶ崎動物公園



夢見ヶ崎動物公園 周辺案内図



— 交通案内 —

- JR新川崎駅下車 徒歩15分
- JR鹿島田駅下車 徒歩20分
- JR川崎駅西口しあわせ広場バスターミナル



※駐車場の駐車可能台数は19台と少ないため、公共交通機関での御来園に御協力をお願いいたします。

夢見ヶ崎公園の四季の花・木



ツバキ(2月)

スイセン(2月)

ハクモクレン(2月)



カワヅザクラ(3月)

ソメイヨシノ(3月)

ウラシマソウ(4月)

ヤエザクラ(4月)



ドウダンツツジ(4月)

オオムラサキ(4月)

マーガレット(5月)

ヤマブキ(5月)



カイツカイブキのトンネル

ヒガンバナ(9月)

ヤマボウシ(9月)

イチヨウ(11月)

※開園時間

午前9時～午後4時
(駐車場は午後4時30分まで)

※休園日

無し(年中無休)

川崎市建設緑政局

緑政部夢見ヶ崎動物公園

電話 044-588-4030

ファックス 044-588-4043

ホームページ

川崎市ホームページ(<https://www.city.kawasaki.jp/index.html>)のトップページから『市政情報→主な市の施設→緑と公園→夢見ヶ崎動物公園』でアクセスして下さい。(https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/288-7-22-0-0-0-0-0-0-0.html)

QRコードはこちら→



夢見ヶ崎動物公園 園内マップ

※動物の健康状態等により、配置が変わる場合があります。

